

研修費（ 竹村克司 ）出張報告書

令和5年8月30日

氏名 竹村 克司	研修会等題名 中間貯蔵施設見学会
期間 令和5年8月19日から 令和5年8月19日まで	研修会等会場（市区町村名） 福島県双葉郡大熊町

研修会概要・意見等

8月2日、中国電力が、関西電力と共同で山口県上関町に中間貯蔵施設の建設に向けた調査をしていくと、報道で知りました。色々調べていくと、福島県で中間貯蔵施設の見学会があることを知り、参加予約申し込みをし、8月19日、福島県双葉郡にある中間貯蔵施設見学会に参加させて頂きました。15分ほど中間貯蔵情報センターにて見学会の説明を受けました。8月20日に、岸田首相が経済産業省管轄の福島第一原子力発電所に見学に来るとの報道があり、発生した福島第一原子力発電所から目と鼻の先に貯蔵施設があるのですが、環境省管轄の中間貯蔵施設に首相は一度も見学に来たことがない、と嘆いておられました。汚染土壌や廃棄物を最終処分するまでの間、安全かつ集中的に貯蔵する施設で、双葉町、大熊町におよそ16kmに渡り、整備されています。マイクロバスに乗り、更地になった場所に、汚染土壌が入ったフレコンバックを一時的に保管する仮置き場、分別する受け入れ分別施設、体積を小さくする減容化施設、保管する土壌貯蔵施設、元々あった田畑や山林を切り開き作られました。帰還困難区域にも入り、広大な敷地の中には、未だ12年前と変わらないまま取り残されたかのような、そのままの介護施設や、外観だけ見ればオープンしてるかのような店舗、一軒家、駐車場には車が放置されたままで、そこだけ時間が止まった状態でした。車で5~6分走れば、普通に生活をされてる方がおられ、スーパーにも買い物客が普通に買い物をされており、不思議な感覚を味わいました。これ以上中間貯蔵施設は作るべきではありません。上関にも必要ありません。これからも全国に視察に行き、下関市の役に立てるよう勉強していきます。

中間貯蔵施設 見学会

参加無料

※事前申込必要

測定体験はじめました!

大熊コース

双葉コース

8/18(金)※

8/19(土)

9/16(土)

9/15(金)※

10/20(金)※

10/21(土)

11/18(土)

11/17(金)※

12/15(金)※

12/16(土)

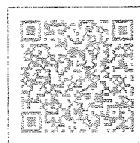
※測定体験があります。

開催時間

10:00~12:00 / 13:00~15:00
(測定体験日13:00~16:00)

集合・解散
場所

中間貯蔵工事情報センター



◀HPはC55

申込み
問合せ

メールまたはFAXでお申込みください。

メール johocenter@jesconet.co.jp TEL 0240-25-8377 FAX 0240-25-8378

中間貯蔵工事情報センター 運営：中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

